説明会及び意見交換会の概要

日　　時	平成２５年　１０月　１６日　（水）　１９：００～２０：００		
対象団体	気高地域住民	参 加 者 数	５人
場　　所	気高町総合支所		
出 席 者	山田支所長、安藤副支所長、茅山地域振興課長補佐、小林学校施設係長、校区審議室（神谷、小谷、清水）		

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
1	中学校を通して設計の要望等をあげてくださいとのことだが、設計期間のＨ２６年中に取りまとめればいいのか。	要望は設計に入る前までにお願いしたい。来年の２月には設計業者に発注するので、来年の１月末までには要望を箇条書きでも構わないのでいただきたい。
2	校舎は現位置で改築するとのことだが、先生方の駐車場をどのように確保するのか。現在、自動車は斜めに窮屈に置かれている。また、潮風が強いため先生方の自動車が痛むとの話も聞いている。	校舎をどのような形で建てるかを優先し駐車場は次の段階になる。まずは使いやすい校舎の建築が本筋で、駐車場の協議を優先するのは本末転倒。駐車場は、体育館やランチルームへの動線も踏まえ学校側と協議することになる。外回りの設計の際には駐車場への配置を心掛けるが、駐車場を優先し学校自体が使いにくくなるのは避けなければいけない。
3	校舎はグラウンドより一段高いところに建っている。現在の盛土の法面を階段状のコンクリート壁に変更出来ないか。こうすれば観客席にも利用出来るし、敷地の有効活用に繋がる。	要望として検討させていただく。
4	体育館は改修されるとのことだが、風通しの良い体育館を念頭に設計して欲しい。器具庫が北側にあり、風通しが悪くて夏は蒸し暑い状態。意見が言える場が無いかも知れないので今発言しておく。	お聞かせいただいてありがたい。明日、気高中に設計条件の取りまとめについてお願いに上がる。中学校を通じて設計要望の投げ掛けがあるかも知れないが、その際は協力いただきたい。
5	「組織づくりを支援する」とあるが、組織とは地域なり保護者なりの組織がたくさん出来てもよいのか。気高でまとまった一つの組織でなければいけないのか。	地域の実情に応じてということ。校区審議会で必ず一つでなければという議論はしていない。要は、個人ではなく地域として方向性を検討して欲しいというお願いだ。審議会は学校のあり方の結論を持っている訳ではなく、単独で残すことも否定していない。ただ、単独校として残すにしても、小中一貫校に移行するにしても、統合するにしても、それ以外の選択肢を考えるにしても、地域と学校がどのようにか関わっていくのか、地域としてどんな子供たちを育てていくのかというビジョンを考えて欲しい。そういう話し合いをお願いしたいと考えている。
6	気高の４小学校は地域との関わりが深く、小規模でも特色ある学校がたくさんある。小学校は地域で育てていく姿がベターだ。旧市内では統合しても歩いて通えるが、気高では歩いて通えない子も出てくる。気高では学校間の交流を進めているので、通学のスクールバスではなく交流のための移動バスを運行出来ないか。交流がスムーズにいくと、地域も学校を残すことが出来るし、小規模のデメリットの解消ともなる。校舎や子供たちを集めるのではなく、そんなシステムを作っていただきたい。	そういった話を地域の中で進めてほしい。学校間の連携の仕方や、学校運営の一つの方向性としてコミュニティスクールといった考え方もある。色々な可能性がある。今は個人の意見としていただいたが、一方で統合して欲しいという方もいるのも確かなこと。そんな中で、地域として話し合い、具体的な提案や方向性が示されれば、その意見を審議会が受け止めることになる。

説明会及び意見交換会の概要

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
7	学校は防災拠点や地域振興の要という面を持つ。教育委員会だけでなく市役所全体で考えてほしい。	―
8	地域で議論する組織づくりと言うが、誰がどのように議論するのか。組織づくりを地域がまかされた格好なのか。	地域の意見を地域自身が集約し、地域の思いとして届けていただきたい。校区審議会は学校のあり方の結論を持っている訳ではなく、地域に委ねている格好でもある。地域の事情や背景はそれぞれ違っており、組織づくりも押し付けるものではないが、これからの学校はどうあるべきかを自発的に考えて欲しい。
9	校区審議会は地域の議論を踏まえ、平成２６年当初に答申するとあるが、期限を切られると地域を追い詰めている感じがする。	答申の実際の時期や内容は、各地域の議論の状況により随時検討すると記述している。地域で議論を進めたが結論に至らないというのは仕方がないことで、無理やり決めなさいとは審議会も言わない。答申内容は地域の議論の成熟度に関係しており、その点は理解している。ただし、地域が組織づくりもしていない、議論もしていないというのは困る。まずは組織づくりをお願いしている状況である。
10	組織づくりは難しい問題だと思う。	（支所長） 自分達の学校のあり方を地域で考えるということは、そうでなければいけないと思っている。ただ、どういう形で進めていくかは調整が必要と考える。とっかかりは、総合支所が地域やＰＴＡに対してアプローチすべきかとも考えている。総合支所は、この問題に地域と一緒になって取り組んでいこうと思っているので協力いただきたい。各小学校区の話と町全体の話があるので、とりまとめは大変だと思っている。意見交換会で個々の意見はたくさん出てきたので、これからは気高の意見としてどう集約していくかが課題となる。